

授業科目(ナンバリング)	長崎研究 (CA115)			担当教員	板垣朝之・早坂昌彦・森尾真之 ※原 哲弘・※池田 拓朗		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の 類 型
<p style="text-align: center;">テーマ：長崎県の風土と文化</p> <p>かつて西洋・中国・朝鮮に開かれた窓として、外国の文物を受け入れると共に、日本国内から多くの文化人を惹きつけてきた長崎県は、独自の歴史と多様な文化を有している。県内各地に残る多くの史跡や文化財は、島嶼と半島から形成される地形の美しい自然景観と共に、かけがえのない観光資源であって、そうした文化・自然の両方における豊かな観光資源を背景に、長崎県は「観光立県」をうたっている。</p> <p>この授業では、観光学にとって好個の研究事例である地元・長崎県の魅力に迫り、併せて観光の視点からさまざまな課題について考察することをねらいとしている。</p>							①②
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	長崎県の自然や産業に関する用語や事象を整理し、授業内容について説明できる。				・小テスト ・課題レポート	20% 10%	
情報収集、分析力	歴史や統計グラフなどから史実を読み取り、長崎県の観光の魅力や課題を分析することができる。				・小テスト ・課題レポート	5% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	長崎県の特異な歴史と多様な自然・文化について説明することができる。				・小テスト ・ワークシート ・課題レポート	15% 20% 20%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組みは、意見やコメントを求める場合がある。授業時に出された意見やコメントは、受講者自身の考えを相対化できるように、集計可能なものはその結果を提示する。また、適宜匿名で紹介し、担当教員よりコメントを加えることがある。 ・小テストでは、使用したキーワードの適切さ、内容の正確さ、説明の具体性および課題を論理的に説明できるかなどから評価する。なお、フィードバックは授業やポートフォリオを通して適宜行う。 ・【板垣】第1・2回の授業後に意見・質問等を記入して提出する。 ・【森尾】長崎県の観光資源のワークシートに記入して提出する。 ・【早坂】第4回の最後に理解を確認するための小テストをポートフォリオで行う。 ・【池田】第5～9回の内容について、小テストを行う。 ・【原】第10～15回について、ポートフォリオに提出した内容について課題レポートを提出する。 							
授 業 の 概 要							
<p>5名の教員によるオムニバス形式の講義を行う。各教員の専門分野に関する方法論と事例に基づき、長崎の魅力と課題を多角的に考察する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：授業内容の要点を整理したプリントを配布する。</p> <p>参考書：各自治体（佐世保市、西海市、川棚町など）が出す市史</p> <p>指定図書：各自治体（佐世保市、西海市、川棚町など）が出す市史</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
各教員の視点と方法論、さらには取り上げる様々な事例を通して、長崎の多様な魅力を認識して欲しい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	イントロダクション	(板垣) 授業の到達目標・概要・進め方を確認する。長崎新幹線の現状と今後について俯瞰する。	予習：シラバスの一読 復習：シラバスの通読
2	西九州地区・長崎の観光と新幹線延伸問題を考える	(板垣) 九州新幹線西九州ルート(長崎新幹線) 開通を控え、現状の理解と新幹線網の歴史を学ぶ。	予習：日本の新幹線の歴史について調べる 復習：新幹線延伸の意味を考える
3	長崎県の観光資源の概要と今後の課題と展望	(森尾) 世界遺産や国立公園など文化・自然資源に恵まれた長崎県の観光地について学習し、直面する課題と今後の観光地としての可能性を考える。	予習：県全体の地形を理解しておく 復習：観光のキーワードを整理する
4	「長崎 IR」誘致の意義	(早坂) 長崎県が主体となって進めている IR(カジノを含む統合型リゾート)の誘致について、長崎の地域振興の観点からその意義を学ぶ。	予習：IR 誘致に関する現状について調べる 復習：長崎県の人口の推移を調べる
5	長崎におけるキリスト教①	(池田) 東洋の小ローマと称された長崎のキリシタンの街に至るまでの経緯と、長きにわたる潜伏を余儀なくされた禁教の時代に至るまでの歴史を学ぶ。	予習：長崎に存在する教会の数や信者の数を調べる 復習：長崎のキリスト教史
6	長崎におけるキリスト教②	(池田) 禁教により潜伏を余儀なくされたキリシタンの実態と奇跡の復活を遂げるプロセスについて学ぶ。	予習：カクレキリシタンについて調べる 復習：長崎に存在するキリスト教聖地について調べる
7	長崎の教会群の世界遺産登録までのプロセス	(池田) 世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産としての価値とその登録までのプロセスについて学ぶ。	予習：潜伏キリシタン関連遺産の概要 復習：世界遺産に登録された他の聖地について調べる
8	世界遺産登録とその後	(池田) 世界遺産に登録された長崎の教会群の構成資産の地域では、登録後どのような変化が見られたのか、そこから見えてくる課題は何かを学ぶ。	予習：潜伏キリシタン関連遺産に関するニュースをみつける 復習：これまでの講義の内容
9	平和都市ナガサキ	(池田) 原子爆弾が投下され、広島に続き世界で二番目の被爆地となった長崎の原子野からの復興のプロセスを学ぶ。第 5～9 回の授業に関する小テストを実施する。	予習：原爆投下までの歴史 復習：長崎の原子野からの復興のプロセス
10	国境の長崎県	(原) 長崎県は、海岸線が日本で一番長い県である。また長崎県対馬市は、韓国・釜山まで 50 km であり船で 1 時間の距離にあり、昔からグローバル社会である長崎県について学ぶ。	予習：長崎県の地図を見て、各自治体の名称と位置を事前に理解する。
11	メビウス航路	(原) 長崎県を理解するには、海から長崎県を考え、そして体験しないと理解できない。そこで佐世保湾、大村湾を知ることによって長崎県の観光、環境、景観について学ぶ。	予習：佐世保湾と大村湾を事前に調べ、実際に携帯で写真を撮る。
12	佐世保学	(原) 佐世保市は、古くは埋め立ての歴史であり、軍港の町である。現在は、防衛施設とテーマパークが共存する街でもある。HTB の統合型リゾート計画、西九州自動車道の整備、豪華客船を受け入れる浦頭港、名切公園整備など町の変化について学ぶ。	予習：浦頭港に行き、佐世保市のインバウンド観光について考えること。
13	西海学	(原) 西彼杵半島は、陸の孤島であった。しかし古き良きおのが残っていることで独自の文化を生みだしている。第 6 次段業を生業として観光に取り組んでいる内容について学ぶ。	予習：佐世保港から 15 分で横瀬西港に行ける。そこで西海町横瀬を歩いて時間距離を体験する。
14	中世のキリシタン建築	(原) 長崎は平戸史、西海市、長崎市と順を追って宣教師が訪れている。その後、伴天連追放令により現地や日本における記録が破壊され、ほとんど記録がない。1560 年～1580 年頃のキリシタン建築について学ぶ。	予習：長崎と天草地方の潜伏キリシタン遺構について調べる。
15	長崎地方の課題と解決策	(原) 少子高齢化、定住促進、空き家対策など問題が山積みである。しかし視点を変えて現状から世界を見たら違う問題と解決策が出てくる。	予習：世界から見た日本を想定して文献を調べる。